

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆめの園みらいず川越 児童発達支援・放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 20日		令和7年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 20日		令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域の方々との交流の機会を多く設けている。月に1度以上、地域のボランティアの方を招き共に活動している。 フットサル活動では、ボランティアの方と一緒にチームを組み、練習や大会参加をしている。	定期的にボランティアの方々と連絡を取り、継続的に繋がりを持つことができるように取り組んでいる。 お祭りに呼んでいただいたお礼の訪問等、ボランティアの方の所属先との交流の機会を作っている。	地域のボランティアの方との繋がりが広がるよう、社会福祉協議会等と連携する。
2	事業所の立地場所を活かしたプログラムを提供している。「小江戸のまち買い物学習」や「公園外出」等、地域の特徴を生かしたプログラムを実施している。	全職員からプログラム内容を募ることで、様々な活動内容を提供している。	ご利用者様にやりたい活動を伺い、プログラム内容に活かせるように内容を検討する。
3	高等部卒業後を見据えた活動を提供している。 「作業訓練」では、物の仕上げやタオル畳み等、実習・就職に活かせるような内容を提供している。 「みらいずアドベンチャー」では、法人内の就労施設へ見学・体験に伺い、働くイメージをもつ機会となっている。	職員も卒業後の姿を見据えて、個別支援計画の立案・支援ができるよう、法人内の就労施設へ訪問し、働いているご利用者様の姿を見たり、サービス管理責任者にお話を伺う機会を作っている。	ご家族様に実習の様子やそこの課題を伺い、個別支援計画や実際の支援に活かせるよう、取り組む。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が少ない。	保護者見学やご家族様参加型のプログラムが用意できず、交流のきっかけとなる活動が少ない。	保護者見学やご家族様参加型のプログラムを検討する。
2	活動スペース内に段差や階段があり、ご利用者様が過ごす際に危険と感じる場面がある。	限られたスペースで活動していること、ご利用者様の好む場所等の関係で、狭い通路等で過ごす時間ができてしまう。	階段等では滞在しないよう、環境を構造化する。 例：床に「×」印をつけて座る場所ではないことを視覚的に伝える。楽しく身体を動かす場所と、静かに過ごす場所を分ける。
3	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等できていない。	学校や、移行先の障害福祉サービス事業所等との繋がりが弱い。	まずはご家族様や相談支援専門員と連携を取り、放課後等デイサービスでの支援内容等を情報提供する。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：令和7年3月10日

事業所名：放課後等デイサービス ゆめの園 対象人数（保護者）37人 回答者数 30人 回収 81.0%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	10	3	施設は狭いと感じる外遊び出来るスペースがもっとあると良いです。何度か面談で伺っていますが、中高生がいるには狭い気がします	2階や園庭を使用し、活動場所の確保に努めます。公園外出やトランポリンのプログラム等、身体を大きく動かすことのできる機会を提供いたします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	6	1	人員不足で月1回利用出来ない日がある人数がどれくらいいるのかよく分からない	人員の関係からキャンセル待ちをお願いする場合がございます。従業員数は、契約時にご説明をいたします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	6	4		スケジュール表や送迎表の掲示により視覚的にわかりやすい環境を提供いたします。段差や階段などの危険な場所で過ごすことがないよう空間を構造化し、「何をする場所」かをお伝えしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	24	4	2		清潔で心地よく過ごすことのできる環境整備に努めます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	2			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	5	1	固定化されている	全職員からプログラム内容を募り、固定化されないよう取り組みます。

	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	15	8	他との交流は今のところ必要と 思っていない	フットサル大会やお祭りに参加することで、地域のこどもと活動する機会を持ちます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	1			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	10	4		家族支援プログラムや研修会、情報提供の機会を持つことができるよう、事業所として模索していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	30				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	1			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	16	10		ご家族様も参加できるプログラムを提供し、保護者同士、きょうだい同士で交流ができる機会を提供いたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	5			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	2			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	2			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	8	3	マニュアルや訓練等はあるようですが災害など緊急時の対応の説明をきいたことがないので不安です	各種マニュアルに関して、契約時や、都度ご希望に応じてご説明いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	11	1	利用日が少ないのでわからない。	年2回避難訓練を実施しております。実施後はSNS等で訓練の様子を発信いたします。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	26	4			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	24	6			
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	30				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	30				
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	3	1	希望した日に利用できないことがある 今年度から、キャンセル待ちと言われ利用できない日があるから。利用希望を出してから決定まで日数があるので、予定が立てづらく利用可能になってもキャンセルする事があり残念。	定員数の関係からキャンセル待ちを出してしまう場合がございます。空きが出た際は速やかにキャンセル待ちの利用者様へご連絡をいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ゆめの園みらいず川越 児童発達支援・放課後等デイサービス		公表日		令和7年 3月 10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	2階や園庭、カウンター部分の仕切りを活用し、スペースを確保している。	定員10名の時は適切と感じるが、11名以上になった時には狭く感じることがあるため、園庭や2階を活用する。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	加配加算を取得している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	スケジュール表や送迎表の掲示により、視覚的にわかりやすい見通しが持てる環境。階段やトイレに手すりも設置されている。	段差や階段が危険と感じる。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	2階やカウンターの仕切りを有効に活用し空間を分けている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	2階の静養室では、個別・少人数で過ごすことができる。	必要に応じてパーテーション等を使用し、個別で過ごす環境を提供する。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	スケジュールボードを活用し、各々職員の業務の進捗状況を見える化している。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	年に1度、全職員で保護者向け評価表を確認し業務改善に努めている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	月に3度1on1ミーティングを実施し、職員の意見を業務改善に繋げている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	毎月事業所内研修を実施。外部研修等に参加している。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	5領域に対応した支援プログラムを作成している。毎月保護者に向けて、翌々月プログラムを公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	半年に1度保護者面談を実施し、ニーズや課題を伺ったうえで個別支援計画を作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	個別支援計画作成時に開催される担当者会議に、児童指導員・保育士も参加し、支援内容の検討をしている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	全職員がいつでも個別支援計画を開覧できる環境にあり、計画に沿った支援が実施されている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ガイドラインに沿って設定している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	全職員から意見を募り、立案している。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	職員間で反省会を行い、出た意見を次の活動へ活かしている。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	ひとりひとりの利用者様のニーズに合わせて、個別活動を提供している。	利用者様、ご家族様の意向に沿って、個別活動を提供する。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	始業時に朝礼を実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援終了後に終礼を実施し、議事録を作成している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々のケア記録を作成し、モニタリングの際に活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	6か月に1度以上、モニタリングを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7	0	個別支援計画作成時に個別で面談を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	主に児童発達支援管理責任者が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	地域の歯科医院と連携し歯磨き教室の開催をしている。	地域の関係機関と連携する体制を整える。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4	中学生以上の利用者様が多いため就学前の情報共有は少ないが、新規利用者様は既に利用している事業所と情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4	必要に応じて、相談支援専門員等を通して情報提供をしている。	必要に応じて情報提供する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		研修参加等に積極的に参加する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	地域のフットサル大会に参加し、地域のこどもと共に活動をしている。	放課後児童クラブや児童館との交流の機会をもつ。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6		積極的に参加する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	日々の送迎、半年に1回の面談時に情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	フットサル大会には、ご家族が応援に来てくださっている。	家族参加ができるプログラムを検討する。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	個別支援計画作成時に、本人、ご家族に移行の確認を行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	ガイドラインに沿って進めている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	7		保護者同士、兄弟同士で交流する機会を検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情があった際、マニュアルに沿って対応している。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	毎月1度翌々月のプログラム公表と活動の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	年1回のお祭りに、地域の方々を招待している。フットサル練習や大会には、地域のボランティアの方々が参加してくださっている。	掲示板にお祭りポスター等を掲載し、地域に開かれた事業所を目指す。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	マニュアル等の策定、訓練実施を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	業務継続計画（BCP）を策定し、訓練等を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	契約時と半年に1度の面談時に確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	契約時と半年に1度の面談時、ご家族にアレルギー対応の方法を確認している。	必要に応じて医師の指示書を確認する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を作成し、研修や訓練等を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		職員には周知しているが、保護者には周知が不十分である。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット発生時に報告書を作成し、職員間で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	1年に2度、事業所内にて虐待防止研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	やむを得ず身体拘束を行う場合のマニュアルを作成している。	